

人間が招いてしまった、地球温暖化や異常気象だが、もう人間には止められない状況まで来ているんだと思った。

このような世の中で「環境マネジメントシステム」とは素晴らしいシステムだと思う。コスト削減により環境への配慮ができて、さらにマネジメント力もつくあたり、良いと感じます。

今回、お話しで、環境について「1-層知る」とか「2-層知る」とか「3-層知る」とか、  
私たちが何気なく生活している裏側では、食事をとるとか「3-層知る」とか  
たかたかさんいて、月頃の生活を見直していかないと「1-層知る」とか「2-層知る」とか  
環境問題は、自分の目「1-層知る」と見えるところには「1-層知る」とか「2-層知る」とか「3-層知る」とか  
というけれど、自分達の力で「1-層知る」とか「2-層知る」とか「3-層知る」とか  
感じました。私達の知らないところ「1-層知る」とか「2-層知る」とか「3-層知る」とか  
環境問題について考えていて驚きました。三重県民の「1-層知る」とか「2-層知る」とか「3-層知る」とか  
新しい導入工場の「1-層知る」とか「2-層知る」とか「3-層知る」とか、農業など、環境について考えら  
る職業、仕事に興味を持ちました。

今回は、M-EMS (ミームス) の代表理事、田中正一さんのお話を聴きました。田中さんは、環境問題のお話を中心に、地域との連携や、田中さん自身の社会経験などを話されました。M-EMSは、少ない費用で環境改善への参加活動ができ、企業価値も向上すると共にマネジメント力もつくというシステムのことです。約300社ほどの会社かM-EMSに登録しており、私のまわりの会社も加入しているのかなと身近に感じました。

さらに近々三重県では森林税という税が1人1000円課せられるということにはとてもおどろきました。もっと詳しいお話をしたいと思うと同時に、このシステムを知れよからなと思いました。

|           |                      |           |         |
|-----------|----------------------|-----------|---------|
| 三<br>短期大学 | 重<br>法経科第二部<br>生活科学科 | コース<br>専攻 | 期<br>62 |
|-----------|----------------------|-----------|---------|

12/6

最初環境の問題から入った時は、少しおどろきました。最終的には、就職のためになる話として頂けて勉強になりました。環境の話では「ハゲタカと少年」の宇真が、今までにも見た書はあ、た、た、た、すが、とても印象深く、あの1枚の語りかけてくる情報の全てが心に重くのしかか、えくる気がしました。環境マネジメントシステムについては、今日の講義で初めて知って、またまた自分の知らない社会の仕組みは多いと改めて思いました。

|           |                      |    |           |    |   |
|-----------|----------------------|----|-----------|----|---|
| 三<br>短期大学 | 重<br>法経科第1部<br>生活科学科 | 経商 | コース<br>専攻 | 45 | 期 |
|-----------|----------------------|----|-----------|----|---|

環境についての話や、仕事での対応や考え方の話も今から生活やアルバイト先で実践しようと思わせる話でした。少しの節約や節電も無駄なことだと思っていて家でもしていませんでした。一番の問題は自分一人ではなく家族との協力と理解が必要なことだと思います。昔節電対策などで電気を消すようにしましたが、暗いのが嫌だと反対され結局長続きはせませんでした。なのでより多くの人に環境問題を伝えていく活動もしてほしいことだと思っています。

今日の講義のテーマである「M-EMS」に大変興味を持りました。資金力のある大企業こそ「環境のため」と全面に押し出しているのに、中小企業が取り組むなんて思いません。そこでこの「M-EMS」はうて口だと思いました。

確かに環境を考えている企業は世間の印象は良くなります。環境マネジメントのステップ2の中にある企業が「バランス（見本）」のように社外だけでなく社内の姿勢も変えることができれば画期的だと思いました。将来自分は会社経営をしようと考えているので、今後企業は「小さい環境」への責任についてこの「M-EMS」を参考にしていこうと思います。

台風 3号、てそんな1巨大だったんですね。最近 台風とか豪雨とか地震が多い気がします。環境が原因だったんですね。毎日のことを考えていると、大きな問題を先延ばしにしてしまうんだと思います。だからこそ、大きな問題に挑んでくれる人が必要なんだと思います。その人達の行動が毎日のことしか見えなかった人々に思い出させてくれるんだと思います。ほんの少し意識するだけで変われるんじゃないでしょうか。M-E MSはすごいと思います。環境も企業もキツクあるところが、かなり大変なお仕事なので、新しくシステムを作るのは難しいことだと思います。その分、周りに与える影響も大きいのは、そういえば、私の家の近くのお年寄りの方々は、月2-3回みなさんで「ゲートボール」して遊ぶ。楽しそうです。

今回の講義では、地球温暖化や異常気象など、現在世界で大きな問題となっていることについて詳しく学ぶことができ、非常にためになったと思います。地球温暖化が身近でいることは、いろいろな場面で聞いたことがあったけれど、今回の講義を受けて現在では、自分が思っている以上に、深刻な問題になってきているんだなと思いました。さらに、アフリカの食料不足の話では、ハゲタカとアフリカの子どもの写真がとても印象に残りました。自分ではどうにかできる問題では無いけれど、なにかできることはないか、これから探していきたいと思います。



|           |            |              |           |         |      |
|-----------|------------|--------------|-----------|---------|------|
| 三<br>短期大学 | 重<br>生活科学科 | 法経科第(部<br>法律 | コース<br>専攻 | 期<br>45 | 12/6 |
|-----------|------------|--------------|-----------|---------|------|

環境についてしっかりと考え、身近に課題を3つを思ふ。

|           |                        |    |           |         |
|-----------|------------------------|----|-----------|---------|
| 三<br>短期大学 | 重<br>法経科第 / 部<br>生活科学科 | 法律 | コース<br>専攻 | 期<br>43 |
|-----------|------------------------|----|-----------|---------|

12/6

私たちが人間によって、よこした私たちが生きている地球によって、もっと大切なものが  
 自然環境という言葉は過言ではないと思います。よこした環境が私たちが人間の手によって  
 破壊されているという事実を改めて思い知らせたい。自分たちの欲のために、身を守るために、  
 大切な地球にはいろいろな自然を汚し、生態系を壊し、多くの動物や植物を  
 絶滅させているという事は、重大な過ちであると思います。  
 今、環境に社会が注目するようになった。環境に負ける企業があるように  
 してより多くの企業、人口が、負ける問題を解決していかないと  
 思っています。よこした環境を元に戻すための努力を私たちが怠らなければ、環境に社会が  
 注目を集める企業が増えることを願っています。

|           |            |        |    |           |    |   |
|-----------|------------|--------|----|-----------|----|---|
| 三<br>短期大学 | 重<br>生活科学科 | 法経科第1部 | 経商 | コース<br>専攻 | 45 | 期 |
|-----------|------------|--------|----|-----------|----|---|

世界の環境についてよくわかった。日本の豊食で残して。世界の  
餓死の子供が救える知って衝撃を受けた。

70歳の人生の先輩が人のため、地球のために活動されている  
ことを知り、18歳の自分が何もしてなくて良いのかなと思った。  
田中さんの生き方をそっくりそのまま真似することはできないが、  
自分の一つ一つの行動を、「これは人のためにならなうことか？」  
「これは地球をいじめていないか？」と自問自答してからおこなってい  
いきなり「地球のため、なんて大きなことはできないが就職したら  
「会社のために」「お客様のために」という意識を持って社会に  
貢献していきたいと思った。  
ありがとうございました。

地球温暖化が進行していることは、前から、話題やニュースに取り上げられていたことでは知っていた。しかし、南極の氷が溶けて海面が上昇しているだけでなく、北極の氷も溶け始めていることは初耳だった。世界の国々でCO<sub>2</sub>の削減が行われているか本当に行われているか、自分は疑問に思った。自国の発展によってCO<sub>2</sub>が増加しているのではないかと。だから、国が削減を行ったとしても、自分たち自身（食生活や買い物等）を行っている。国民一人ひとりが、CO<sub>2</sub>の削減や温暖化の進行を遅くするために努力する必要がある。

環境改善活動に取り組むたいと考えているが、費用や責任者の確保が困難な中小  
事業所の人々に、費用負担額が少なく、取り組みやすい環境マネジメントシステムとして  
三重県で普及しているM-EMSという制度を今日初めて知りました。近年では深刻  
な環境問題が世界各国で起る、起る中で、「周りがやらないうから自分も……」  
とか、「自分だけやっても皆がやるわけでは意味がないから、やめたい」とか、「一人一人  
が環境を守るためになすべきこと」という意識がまだ弱い状況にあります。  
しかし、環境問題は深刻化するばかりであり、持続的な人間社会の発展には、環境を  
守るために一人一人が今すべきことは早くにやるという意識を持つ必要があり、M-EMS  
のように環境改善活動の推進をはかる制度を活用して、環境改善活動を行いかず  
場をとり、環境を守る、というべきだと思われました。

|           |            |                   |    |           |    |   |
|-----------|------------|-------------------|----|-----------|----|---|
| 三<br>短期大学 | 重<br>生活科学科 | 法経科第 / 部<br>生活科学科 | 法律 | コース<br>専攻 | 49 | 期 |
|-----------|------------|-------------------|----|-----------|----|---|

12/6

今日の環境についての講義を聞き、その現状について知ることで、温暖化による水温の上昇、北極の氷が溶け始めたり、異常気象、砂漠化、自然環境の変化など挙げるときりがないほどであった。この地球環境の変化の原因は私たち人間である。技術革新により、私たちが住む環境が良くなると、一方で、自然は破壊され、今のこの状況まで陥ってしまっている。このいわゆる自然へのツケを返していかなければならない。これをしなくてはならないのもやはり人間なのである。1人1人がその意識を持つことが始め身近なところ、例えば、節水節電をする、環境に配慮した電化製品に買い替える、ゴミの分別など、から積極的に行動していかなくてはならないと、改めて考えさせられるものとなった。

この数年の異常気象の原因はおおむね温暖化だと考えられる。低エネルギー  
 商品が全体的にエネルギーコストのための環境破壊を伴っている。ツバル  
 とモルディブの沈没懸念は今に始まったことではなく15年近く前からその存在を知  
 っている。一個人の環境活動に必要なのだらうとは思わなかった。大きな影響力  
 を降つてこられたらやらなければ、効果は見込めないと考えている。また、日本国民がたす  
 残飯の量は異常だと考える。(なぜ、食べ残した1kg量だ)を作らないのか？私は、出さ  
 れたものは、よほどのことのない限り、決して残さない。嗜みものを堅く握り、骨打をやる。  
 ときどき、日本にはコンビニ文化が根付いたため、残飯が多いのだらう。確かに、コンビニ  
 の弁当は美味い、環境には悪い。よって、コンビニ弁当は(極限まで)なくすべきだと  
 考える。コンビニ弁当はただ、長たすいだけだ。コンビニ弁当はコンビニ弁当がなく、缶詰か  
 っかめやん(1F)

5

10



環境問題について改めて考えてみる機会になった。

少し前にとて大騒ぎがなかったが、現在はそんなに取り上げられてきたと感じる地球環境問題。地球上に生きている限り、誰かがこの問題に関心を持ち、一人一人ができること、やるべきことを行うことが最も望まれるが、現在はそれ远远不够であると感じる。

「世界は今、や」できることを今すぐ、と叫ぶ言葉を聞いて私たちが今より多く地球で生きていること、私たちがやるべきことはなにかを説明することで、とて充実した講義だった。

今回の講義の冒頭で、台風30号のお話や海面水温のお話、ツバルの浸水、北極の氷の変化について聞き、改めて地球温暖化の影響におどろきました。普段生活していても、残暑が厳しかったとか、台風が続けて日本に上陸したなどのことでか地球温暖化の影響を感じることはなかったのですが、こうして目で見て分かることで影響がはっきりあるのだと思いました。

またM-EMSの活動についてのお話も聞くことができ、中小企業のくみや経営状態についても知ることができました。私は今、就活で中小企業を中心に調べているので、今回お話を聞くことができ、よかったです。

社会についてのお話では「おそれいりますか」や「ごさいます」などの言葉を教えていただき、このような言葉を自然に使うことができていないと気付きました。自然に使える大人になりたいと思いました。

温暖化がどういふものか進行しているのだと思つた。しかし正直実感するところがある。無しの。もとの命を向け。環境について知らなければならぬと思つた。おぼろげにも知らぬ事がある。このままで良いのか不安に感じた。今日の講義を聞いて。原心残しは今日も少しは可なり決めた。よく外電に出掛けたのだか。注文も量を考えてから注文。可なり可なり。今日の講義を聞いて良かった。おぼろげに思つた。

|           |            |        |    |           |         |
|-----------|------------|--------|----|-----------|---------|
| 三<br>短期大学 | 重<br>生活科学科 | 法経科第I部 | 法律 | コース<br>専攻 | 期<br>45 |
|-----------|------------|--------|----|-----------|---------|

12/6

田中さんは、自分の経験や過去のこととぶよえ、はじめの方で「ちよとぐらしいの無理なら、し方が「良い」とあらして、いふした。この言葉が、すごく印象的でした。私は今、就職活動が本格的に始動したし、Y学校で担当にあたっている企画があったりして、いっぱいいい、ほいになっている面もありました。しかし田中さんのお話しを聞き、今無理。として、頑張ろうと思えました。また、ハゲタカと少年の画像については衝撃を受けました。私はこの画像を初めて、見ました。同じ地球上で、実際に行っていることなのだと思い、改めて自分の立ち場の有り難さ、また改善していかなくてはならない、子供達を救いたい。などの気持ちを抱きました。田中さんの培われてきた知識、想いを少しかもしたいけど、学びました。

|           |            |                   |    |           |         |
|-----------|------------|-------------------|----|-----------|---------|
| 三<br>短期大学 | 重<br>生活科学科 | 法経科第 / 部<br>生活科学科 | 法律 | コース<br>専攻 | 期<br>45 |
|-----------|------------|-------------------|----|-----------|---------|

12/6

「食糧不足」の話は、小学校の頃などから、よく学習してきました。その中でも、よくある感想として、「これからは食べ残しをしない」というものがあります。しかし、それだけでは何の解決にもならないのではないかと感じました。中小事業所は、費用や負担額が大きくなり、環境改善活動に取り組むことが困難だということは、身近な人の勤務先やテレビ番組の特集を見て、感じていました。また、不景気でそまご先が困らない、環境改善活動のための担当人員と設ける余裕もないと思います。M-EMSのように小企業負担で取り組むことのできるものがあり、その知名度が一般の人々にも広がれば、環境改善活動に取り組んでいる事業所、という風には、信頼も高まり、また、一般の人々の環境に対する意識も高まるのではないかと思います。

今年、徐々に変化している、環境について地球が抱えている問題をかかえて  
いるのに対して、様々な点でも、M-EMSについてのことを知りながら  
できた。地球温暖化という名の大きな問題から、異常な気候が  
増えてきている。氷の変化、いろいろな動物が絶たれ、魚が北上している  
などの変化などを聞き、何か一つの点から始めていこうという思いです。  
また言葉一つで同じ意味でも表現が変わってくる点も「できません」と  
いう言葉、新しい恐ろしい事など「発言一つで相手の受け取り方が変わって  
くる気は見ていくなど新しい社会の一人として、行動していきたいです。

地球温暖化はずいといきあいてすすんでいます。田中さんの話しの中に「ちょっとでも無理をしてやったほうがいい」と言っていたのかとても印象に残っています。

私は、すぐに無理と思ったらあきらめてしまうくせがあります。そのせいで何回も、こうかいしたことがあります。これからは、この言葉を胸にあきらめず頑張りたいです。みんなが率先して温暖化に立ち向かわないと未来の地球はないか。もしれない。自分たちがよければいいのではなく、将来の地球のために今、動かなければならぬと思います。今日初めて人間環境宣言を矢口りました。知らないもつらいと思います。世界中の人々がこの宣言を実行しなければならぬと思う。

ミーンスの取り組みは、とてもいいところであって企業側にもメリットがあり、一石二鳥だと思つたのでこれからもこの取り組みに力を入れてもらいたいです。10

|           |            |              |           |    |   |
|-----------|------------|--------------|-----------|----|---|
| 三<br>短期大学 | 重<br>生活科学科 | 法経科第1部<br>法律 | コース<br>専攻 | 45 | 期 |
|-----------|------------|--------------|-----------|----|---|

12/6

この前の台風30号(ハイエン)が 895メートルの暴風で、あんなに巨大なものだと初めて知りました。日本はよく台風のくる国なので、あんな台風がいつか来るのも仕方ないし、海面水温の上昇とか、+1.72も上がった所もあると驚いたし、もっと環境問題に取り組まなきゃと思いました。これM-EMSっていうのは初めて聞きました。

環境活動に参加したくても、費用や人員の面で、取組む困難な中小企業や事業者にも環境改善活動に参画してもらおう、というすべいものかと思いました。環境マネジメントシステムの特徴の、コストダウンになると社会的評価が向上するとか企業にとっても環境改善活動に参加できるように色々良い点があり、このまま少しづつ環境問題が改善されていけばいいと思いました。



|                |                 |    |           |         |
|----------------|-----------------|----|-----------|---------|
| 三<br>重<br>短期大学 | 法経科第1部<br>生活科学科 | 法律 | コース<br>専攻 | 期<br>45 |
|----------------|-----------------|----|-----------|---------|

12/6

環境問題は、今、日本だけでなく、世界、地球レベルで重要なものとして取り扱われる問題であると思います。

環境破壊による、異常気象や、海面水温の上昇、地球温暖化など様々な問題がおこっています。

地球温暖化では、集中豪雨の増加や洪水、熱帯雨林の減少など、これもまた、多くの問題が起

生えています。それ、テレビのところにありましたが、死にそうなお鳥の子を食べようとしている鳥の写真は、私

も見ることがあり、初めて見た時は大きな衝撃を受けたのを覚えています。また、このように環境問題、

は話の中にもあったように、毎日大量のエネルギーを消費する、現代社会に生きる私たち一人ひとりの

暮らしが原因となって、発生しているのは明らかなことであると思います。したがって、M-EMSのシステムに

はこれと言え得かがあると感じられ、ネットにも信憑性を感じました。このようにシステムの推進も、

これらの環境問題の対策には必要であると思います。最後に、「できることを、いままでに」と

ありましたが、環境問題、地球温暖化という問題の前で立ち止まっている人がほとんどです。

一人ひとりができることは、無限にあると思うので、「後で」ではなく、「今で」やっていくべきだと  
私は思っています。

私たちが暮らした地球温暖化がたしかの被害を出しているのは今まで学校などで勉強してきたけれど今日地球温暖化がもたらす被害を具体的に聞いて、自分は地球温暖化について何も知らなかったなと思いました。地球温暖化によって起きている北極の氷の減少や洪水、熱帯雨林の減少や動物の絶滅危機などは普段身近に感じることができないので、一部の人間しか地球温暖化に関して積極的な取り組みを行うことができないのだと思います。だから今日のお話で聞いたM-EMSはすごいなと思いました。三重県のような地方に環境マネジメントシステムがあって中小企業が参加しやあというのは、環境問題について考える機会が身近にたまるので良いなと思いました。M-EMSを利用することでコストを削減できたし地球に優しくあることができるので驚きました。今日のお話を聞いて、改めて環境破壊の深刻さを実感しました。今日から自分にできる身近なことを始めて、少しでも力になれたらいいなと思いました。

「恐れいります」という言葉は上の立場にあればなるほど使う機会が増える  
ということに吃驚した。私たちの世代（2015年卒）の就職活動も、  
遂に解禁した。社会に出るにあたり、自分より経験を積んだ人を尊敬で  
きる心。また敬意は関係なくとも自分という人間以外に一線引いて  
社会人、大人という自覚を得る自らを律す。為にも、今のうちからしっかりと  
敬語を身につけたいと感じた。飲みにケーションについては私は良い  
イメージがない。職場ですと一緒にいる上司とアフターファイブまで言話  
するのは気が重しい。マネジメントができていないと感じる。マネジメントがきつ  
くと上司は、就業時間内にきつくとコミュニケーションができて  
いるのではないうか。

今日、地球温暖化が進み、環境に様々な進化をもたらしていることを改めて気づかされました。海面の水温や気温、北極の氷の進化などは、今まで快適に過ごしていた動物や魚、昆虫などの生き物にも影響をあたえ、絶滅してしまうものまで出てきていると分かった。今後、これ以上の影響が出ないためにはどうしたらよいかという対策を考えたり、実際に行動に移して少しでも地球を守っていけるようにした方が良いと感じました。

|           |                      |    |           |         |
|-----------|----------------------|----|-----------|---------|
| 三<br>短期大学 | 重<br>法経科第1部<br>生活科学科 | 経商 | コース<br>専攻 | 期<br>45 |
|-----------|----------------------|----|-----------|---------|

12/6

「M-EMS」という言葉自体知りませんでした。今回の授業で初めて耳にし、どういった  
 団体があるのだなと知りました。企業に対し、環境改善に取り組むシステムは  
 企業にもありがたいことであり、環境問題についても軽減でき、一石二鳥で  
 とても素晴らしい活動であると感じました。ただ環境問題について  
 取り組むのではなく、環境問題に取り組みたい企業を支援するという。  
 考え方は全くなくて、とても興味が湧きました。新たな環境問題の  
 解決法を知ることができ、今後この知識を役立てていきたいと思いました。

|           |                      |    |           |         |
|-----------|----------------------|----|-----------|---------|
| 三<br>短期大学 | 重<br>法経科第1部<br>生活科学科 | 経商 | コース<br>専攻 | 45<br>期 |
|-----------|----------------------|----|-----------|---------|

12/6

今日の言いで改めて地球温暖化の問題について重要な問題

だと感じた。年々気温が上がり今年はその中でも特にすごかった。

夏から秋にかけても海面の温度がなかなか下がらずそのため

台風がいくつもで大きな災害をもたらした。また北極の氷がとけていく

問題も今日の資料にはあった。最後にあたように一人一人ができることを

今すぐに実行するということを大切だと思った。

地球温暖化が進んでいるせいでツバル、フナフナ島が水に  
よって浸水してしまったり、熱帯雨林が減少したり大変  
なことになってきているんだと改めておもいました。これからは、  
リサイクルできるものはリサイクルに出して空をつけていこうと思いま  
した。また、この授業でミーンズのことを始めて学びました。  
企業等の経営に当たっての環境への負荷を管・但減らすための  
仕組みで、コスト削減や企業価値の向上、マネジメント力がつく  
などたいていの利益があるものだとということも学びました。

地球温暖化が今すごい早さで進んでおり、その影響が世界中であつて、北極の氷が溶けるのはもちろん、熱帯雨林の減少、タイ洪水もあって地球温暖化怖いものだと思つた。男の子がうずくまっている写真はよくみるけれど、地球の貧困な地域にはこのような男の子がいて、さらに地球温暖化もすすんだらどうなるのか不安になつた。少しでも自分にてきることがあるなら、ご飯の食べ残しをなくす、F&Dし下ろすと思つた。M-EMS(ミームス)を初めて聞いた。中小企業のために安価な負荷が少なくシリアル、なによりもコスト削減とともにマネジネットカがつく、マネジネットカがつけば、消費者もグリーン購入活発化し、じいいに地球温暖化を抑制している。のでM-EMSは中小企業は取り入らるべきだと思つた。でもM-EMSの取組手順が難しそうだと思つた。



M-EMSについてお話をし、頂いた。素晴らしい活動をしているのだな  
と感じました。お話を頂く前は、単なる環境団体かと思、2011年が  
世界規模での環境問題について真摯に考え、活動し、少しでも環境  
を改善し、おこなうために頑張っているのだと思、100%の心  
をこめて、環境破壊の現状を汲み、この状態に陥っているのだと認  
識し、私自身も、少しでもおのこの生活を変えたいと考、2011年が

M-EMSについて、初めて聞くことが多く、とても興味を持って話を聞くことができた。また、三重県でも、2004年から普及してきているということが、意外にも早くから取り組んでいるのか、と思った。今では、多くの企業が、環境マネジメントシステムなどの、環境への配慮を考えた取り組みをしているし、消費者や取引先の環境意識も高まっているので、より多くの企業や人が環境への配慮をもっと考えるようになっていくと良いなあと思った。

地球が直面している危機について詳しく知ることができた。自分の知らないことも多く勉強になることがたくさんあった。企業が必要としている人材はやる気のある人ということも聞けたので、これからの自分にツバゲエいこうと思った。

私たちが環境のためにできることは徹々たるものだが、食べ残しをしないなど、毎日の心がけが大切だと思うので、実行していこうと思った。

私たちが今暮らしている環境がいかに恵まれているのかを感じさせられた  
講義だった。日本で廃棄している食糧の量でアフリカの飢えという  
人たすを助けあげるのであれば日本にある食糧をアフリカに  
送ればいい。日本も最低限の食糧さえあれば死なない程度に  
生きていけるだろうと思った。だから普段から地球について  
考えて生活すればアフリカなどで飢えに苦しんでいる人たす  
に食料や水、ワケチなどを供給することによってみんな平等に  
生きていけると思う。私はよく無駄使いをしてしまう。なので  
すべてのものを有効に活用し環境にやさしい生活を送りたいと思う。  
思った。

地球環境の悪化 これまでも度々耳にしてきましたが、  
今日、お話を聞いてより一層、関心をもつました。

企業が環境問題と取り組むことにより、企業価値  
が上がるので、将来務める会社では、環境問題に取り  
組むような企業に務めたいと思いました。

世界規模の身に感じるほどのあまりない環境問題をくわしく説明してくださったので世界の現状を知ることができました。

また、M-EMSのような環境マネジメントシステムを活用することで環境への負荷を管理・削減でき、さらに企業側のコストダウンになり社会的評価が向上するなど、非常に良いシステムだなと思いました。

三重県内の中小企業向けには「低コストでできること」にも魅力を感じました。

おめとして環境保護を他の人・国が取り組まないから自分だけ頑張る？も仕方がないではなく、1人1人ができることを今すぐ実行するとおっしゃったのが心に残りました。環境のことを考えさせられました。

PDCAの考え方はこれから先、使っていくと思います。

M-EMSの理事長・田中正一氏は他にもたくさん人の肩書きがあり本人は成り行きで役職に就いていると言っていたがやはり実力が過去の経験があって認められた人だから選ばれたと思います。講義の内容は主に自分の経験とM-EMSについて、特に社会の礼儀についてはためになりました。

M-EMSという会社の概略や取り組み、その他の企業との関係などについての話は分かりやすかったです。